



議会だより

ひだか川

No. **75**

令和7年5月1日発行

発行／日高川町議会

住所 和歌山県日高郡日高川町土生160番地

TEL. 0738-22-9504

FAX. 0738-22-2093

E-mail : gikai@town.hidakagawa.lg.jp



第1回臨時会

第1回定例会

第2回臨時会

「キンカン」三佐地内

- こんな質疑を行いました…………… 2
- 一般質問（3名登壇）…………… 10
- 常任委員会県外視察報告…………… 15

全て原案のとおり可決！！

第1回臨時会が2月7日に開かれ、補正予算1件を原案のとおり可決しました。

第1回定例会が3月3日から14日まで開かれ、会期は12日間でした。「令和7年度日高川町一般会計予算（第18号）」などの議案29件が全て原案のとおり可決しました。議会からは、発議2件を提出し、可決しました。

3議員が一般質問で、町執行部の取り組みを問いました。

多くの事業予算が計上され、時代に即した新たな事業展開が期待されます。

第2回臨時会が3月27日に開かれ、工事請負契約の締結1件を原案のとおり可決しました。

こんな質疑を行いました



第1回臨時会

●令和6年度 日高川町一般会計補正予算（第8号）

国の令和6年度補正予算により割当てのあった物価高騰の影響による低所得者に対する給付金と、物価高騰の影響を受けた生活者や事業者に対して、本町が地域の実情により事業化した独自施策の予算を計上したものです。

（賛成全員）

第1回定例会

●町道路線の認定について

本路線は県道御坊中津線改良事業完了に伴い、旧県道に関する引継ぎ協議の結果、大字山野地内において旧県道を町道として新たに認定しようとするもので、道路法第8条第2項の規定により、

議会の議決を求めるものです。

●路線名…長畑線 延長60、5メートル

（賛成全員）

●日高川町職員の給与に関する条例及び地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の一部を改正する条例について

（令和7年4月1日施行）

（賛成多数）

●育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律及び次世代育成支援対策推進法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について

（令和7年4月1日施行）

（賛成全員）

●日高川町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について

（令和6年12月の一一般職

員の給与に関する法律の一部改正により、職員の俸給月額が改定されたことから、消防団員等の損害補償基礎額の改正を行うものです。

（令和7年4月1日施行）

（賛成全員）

●日高川町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例について

消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律施行令の一部改正により、消防団員の処遇改善を目的として、退職報償金の勤務年数区分に、新たに「35年以上」の区分を追加するものです。

（令和7年4月1日施行）

（賛成全員）

●刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について

（令和7年6月1日施行）

（賛成全員）

●情報通信技術の活用による行政手続き等に関する関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るためのデジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について

(令和7年4月1日施行)

(賛成多数)

●日高川町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

(令和7年4月1日施行)

(賛成全員)

●日高川町中津温泉保養館条例等の一部を改正する条例について

各施設の利用料金について、近年の物価高騰により運営経費の増加を踏まえ見直しを行うものがあり、今回規定する料金はその上限を定めるものです。



・入浴料

500円→700円

・バンガロー1棟(宿泊)

1万9千800円→

2万7千500円

(令和7年4月1日施行)

(賛成全員)

問 バンガローの上限

額2万7千500円の算

定方法について

答 近隣キャンプ場の

状況も合わせ指定管理者と協議した。

●日高川町学校施設利用条例の一部を改正する条例について

川辺地区の4小学校が統合し川辺東小学校となることに伴い、学校名を改正するものです。

(令和7年4月1日施行)

(賛成全員)

●日高川町スポーツ広場条例の一部を改正する条例について

廃校となる、山野・江川・三百瀬小学校の各体育館を引き続き社会体育施設として位置付けるための改正及び解体撤去した高津尾屋内運動場を削除するものです。

(令和7年4月1日施行)

(賛成全員)

問 町民の利用は無料であるが、夜間利用時の照明代金は必要か。

答 夜間照明代金の設定はしていない。

●日高川町水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例について

(令和7年4月1日施行)

(賛成全員)

●令和6年度日高川町一般会計補正予算(第9号)補正額

1千389万5千円
(補正後予算総額104億1千510万3千円)

歳入の主な内容

地方交付税(普通交付税)、県営中山間総合整備事業分担金、現年補助土木施設災害復旧費負担金、財政調整基金繰入金です。

歳出の主な内容

若者定住促進新築住宅取得支援事業補助金、御坊広域行政事務組合分担金、県営中山間総合整備事業負担金、急傾斜地崩壊対策事業負担金、減債基金積立金です。

(賛成全員)

問 若者定住促進新築住宅取得支援事業補助金、14件分の内訳について

答 全て川辺地区への補助であり、中津、美山地区は0件である。

●令和6年度 日高川町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)

財源更生

内容

国民健康保険税、一般会計繰入金、国保基金繰入金です。

(賛成全員)

●令和6年度 日高川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

内容

保険料負担金です。

(賛成全員)

●令和6年度 日高川町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)

内容

御坊広域介護認定審査会負担金、介護予防サービス給付費です。

(賛成全員)

問 補正を行う介護予防サービス給付費の具体的な内容は、

答 要支援の認定を受けた方へのデイサービス、ホームヘルプサービス、介護予防訪問看護、介護予防通所リハビリテーションです。

●令和7年度 日高川町一般会計予算

予算総額は98億5千万円で、前年度に比べ2億円の増額です。

主な歳入は、町税11億

2千130万3千円、森林環境譲与税1億764

万3千円、地方特例交付

金700万円、地方交付

税42億5千万円、国庫支

出金12億7千527万

円、県支出金6億5千1

30万8千円、寄附金1

億3千350万円、繰入

金6億8千390万1千

円、町債10億1千420

万円です。



主な歳出の内容は

※子育て支援、福祉・医療対策の充実

保育所運営費

学童クラブ運営関連

民間保育施設運営補助

子ども医療費

妊婦のための支援給付金

出生祝金

乳児おむつ助成

敬老会演芸業務

温泉施設利用助成

単位老人クラブ活動助成金

福祉バス・タクシー券助成

見守り関連(地域見守り

活動、高齢者見守りシス

テム)

不妊治療費助成(一般・特定

新生児聴覚検査費

訪問型家庭教育支援事業

学校給食無償化対応

自立支援給付費

障害児給付費

ひきこもり支援推進事業

インフルエンザ予防接種

新型コロナウイルス接種

带状疱疹予防接種

※人口維持対策

若者定住支援新築住宅取得支援補助

結婚新生活支援事業補助

移住交流推進費

(定住支援業務、空き家

改修補助、空き家活用若

者定住補助、移住支援事

業補助等)

※農林業を中心とした産業の振興(商工関係含む)

農業振興補助金(機械購

入、農地保全対策、燃油

価格高騰対策等)

農地活用支援事業補助金

地域振興対策事業補助金

緊急自然災害防止対策事

業費(ため池廃止工事等)

山の恵み活用事業補助金

林道の開設・改良、維持

関連

森林整備促進事業費(森

林環境譲与税を充当)

商工会助成金

プレミアム商品券補助金

※道路網の整備と防災・減災対策

町道整備及び維持補修関連

洪水ハザードマップ作成

その他防災関係補助金

(耐震改修補助、空き家

解体、ブロック塀耐震対

策、地区防災訓練補助

等)

※ゼロカーボン促進関連事業

ゼロカーボン促進事業補

助金(家庭用蓄電池購入

補助)

地域貢献プロジェクト事

業補助金(家庭用照明L

ED化、発電機購入)

集団廃品回収助成金

町道照明取替(LED化)

※その他

路線バス維持対策(通学

定期券購入補助金、利用

促進実証事業等)

地域公共交通活性化協議

会負担金

シルバー人材センター運

営助成

宿泊施設等指定管理

GIGAスクール用タブ

レット整備関係

旧子十浦小学校解体工事



旧子十浦小学校

設計業務
早蘇中学校増改築及び周
辺整備工事
(賛成多数)

●総務費

問 旧子十浦小の解体
と跡地利用は。

答 地域の意向を受
け、体育館は残し、今年

度の解体を目指す。多目
的施設と位置づけ、管理
は町が行う。

問 役務費における振
込手数料が384万8千

円と多額になっている理
由は。

答 従来無料であった
指定金融機関であるJA

系統内への公金振り込み
が有料となったためであ
る。

問 ふるさと納税の目
標を昨年度と同じ1億3

千万円とした理由は。

答 令和6年度目標に
は2千万円ほど届かない

見込みの中で、ポータル
サイトの充実、返礼品開
発に取り組む。

問 辞退者が出た地域
おこし協力隊の募集に求
める資質は。

答 町の情報発信やS
NSに詳しい方。ふるさと
納税に斬新なアイデア
をお持ちの方を望んでい
る。

問 ゼロカーボン促進
事業補助金500万円の
評判は。

答 問い合わせ等も増え
てきており、令和6年度
の実績見込みは20件であ
る。需要がある限り続け
ていく。

問 合併20周年事業の
概要は。

答 実行委員会を組織
し検討中である。候補と
しては8月末から、秋に
かけて交流センターでの
式典、記念講演会を計画
している。

講演会のテーマは、検
討中である。

冠事業については、4
月上旬にも示したいと考
えているが、町民が年間
を通して20周年の祝意を
感じてもらえるよう進め
たい。

問 コミバスやデマン
ド運行についての見直し
をすべきと考えるが、令
和7年度はどのように対
応するのか。

答 7年度の地域公共
交通活性化協議会負担金



コミュニティバス

の増額は、燃料費の高騰とドライバーの処遇改善が理由だ。

運行の見直しについては具体的な方法を見い出せていない。

●民生費

問 福祉バス・タクシー券助成の、利用状況について問う。

答 令和6年度から、65歳以上で利用できるようになり、417人に券を交付している。4月からすぐに使えるように考えている。

問 出生祝金について、管内の自治体と比べてどうなのか。又、増額は考えられないのか。

答 本町は、第1子、第2子が3万円、第3子以降は10万円である。管内では、出生祝金のないところや、出生児1人当たり10万円のところもあるという状況である。本町は、新婚生活への補助、

新築補助等、切れ目のない子育て支援をしていく考えである。



問 保育所の入所状況はどうか。

答 昨年当初と比べ、20人減となっている。現在のところ待機児童はいない。

●衛生費

問 带状疱疹予防の定期接種についての説明を。

答 定期接種は令和7年4月1日より始まる。内容は、65歳以上の5歳刻みで、対象者は個人負担なしで接種が可能となる。5歳刻みでの節目年齢でない方には助成を行う。

問 汚染物質で注目されているPFASを小規

模水道組合施設において検査委託を行うことになっている。

PFASが検出された場合の対処はどうするのか。

答 昨年行われた町水道において、PFASは検出されなかった。今年行われる小規模水道組合施設で万一、下限値の50ナノグラム以上検出された場合は、物質を取り除く粒状活性炭装置を設置する予定である。

●農林水産費

問 近年ジャンボタニシの被害が増えてくる中で、対策を検討する段階なのでは。

答 被害の拡大は感じており、個体数の減少に関する情報の収集に努めたい。



問 就農支援協議会の活動は。

答 主要メンバー6名に加えてサポートメンバーを町内専業農家に募り、現在27名から賛同頂いている。この他に県、JA、紀ノ川農協ふたば塾、町の移住受入協議会からも協力を得ている。

問 令和7年度の新規就農者の目標は何名か。

答 4月以降に正式に活動を始めることになるので、手探りの状態である。

●商工費

問 観光施設管理運営費の案内看板整備業務の身は。

答 現在整備中の寒川キャンプ場への案内看板で道路2ヶ所と敷地内に5ヶ所程度設置したい。道路看板は上り下り両側から分かるようにしたい。

問 宿泊施設等の指定管理料の積算方法について改善を進める考えは。

答 基本協定書の中で人件費や物価の高騰は事業者のリスク分担とされている実状がある。管理者側でどうしようもない部分については、管理料に反映すべきではないかとの意見もある中で他市町での取り決め事例もあるようなので研究させてほしい。

●土木費

問 道路橋点検における進捗状況はどうなっているのか。

答 本町では、410橋が対象となっている。平成27年度から5年間で一つのサイクルとして全ての橋を調査する。令和7年度から3巡目として60橋の調査を行う。今回、修繕が必要な1橋の設計費用も計上している。

問 道路照明施設取替え工事でのLED化についての説明を。

答 今年度は、かまきりトンネル、あやめ橋、三百瀬橋の3ヶ所を予定している。町道に係る照明のLED化は継続的に進めていく予定である。

問 小規模崖崩れ対策事業の進捗見通しはどうか。

答 この事業は県の予算がつきにくく、令和7年度で4地区を予定している。本町では、工事も含めて、36件の要望がある。

●消防費

問 地区防災訓練についての説明を

答 自主防災組織で共助を高めてもらうため、年に一度は防災訓練をおこなうことをめざしている。

問 防災井戸登録表示板と井戸の水質検査についての選定はどうか。

答 各地区自主防災組織単位で話し合い、登録してもらう。水質検査については、令和7年度で50ヶ所を予定している。

問 令和7年度ハザードマップの特徴はなにか。

答 日高川だけではなく、支川も網羅し、バージョンアップする予定である。



●教育費

問 タブレットのセキュリティは十分か。

答 セキュリティの強化は随時行っている。

問 町村合併20周年であるが、特徴的な計画をもっているのか。

答 自主事業実行委員会、記念コンサートを計画している。

問 地域未来塾の予算が計上されていないが、廃止になったのか。

答 空き教室がないという事情で7年度は、一旦休止。今後は協議の上再開するかどうかを決定したい。

問 南山野球場のスコアボードは、どのようなものを予定しているのか。

答 アウトカウントとスコアの電光掲示板にしたい。

●歳入予算費関係

問 森林環境譲与税は、毎年算定見直しされるのか。

答 今年度のみ増額の見込みである。

問 町税が減っている。歳出についても、一度真摯に検討すべきである。

答 今回、98億5千万円の予算を組んでいるが、その中で町税は、11億円余り。税収だけの予算は難しい。後世にツケを回さない様、日高川町が維持できるよう財政運営に努める。

●令和7年度 日高川町笠松農業用水及び公共用水管理運営特別会計予算

予算総額は、歳入歳出それぞれ243万1千円で、前年度予算と比べ、50万円の減額となっています。
(賛成全員)

●令和7年度 日高川町国民健康保険事業特別会計予算

予算総額、歳入歳出それぞれ13億6千246万9千円で、前年度予算に比べ5千186万6千円の減額となっています。
(賛成多数)

問 被保険者が減少する中で保険税の減収が示されている。本町においては上限額を引き上げる予定になっているのか。

答 限度額は引き上げることになっている。

●令和7年度 日高川町国民健康保険事業川上診療所特別会計予算

予算総額は、歳入歳出それぞれ1億1千423万3千円で、前年度予算と比べ、1千823万2千円の増額となっています。
(賛成全員)

●令和7年度 日高川町国民健康保険事業寒川診療所特別会計予算

予算総額は、歳入歳出それぞれ5千950万円で、前年度予算と比べ、146万9千円の減額となっています。
(賛成全員)

●令和7年度 日高川町後
期高齢者医療特別会計予算

予算総額は、歳入歳出
それぞれ3億3千335
万8千円で、前年度予算
と比べ、560万3千円
の増額となっています。

(賛成多数)

●令和7年度 日高川町介
護保険事業特別会計予算

予算総額は、歳入歳出
それぞれ 13億5千64
9万6千円で、前年度予
算と比べ、215万7千
円の減額となっています。

(賛成多数)

●令和7年度 日高川町川
上財産区特別会計予算

予算総額は、歳入歳出
それぞれ47万6千円で、
前年度予算と比べ50万円
の減額となっています。

(賛成全員)

●令和7年度 日高川町寒
川財産区特別会計予算

予算総額は、歳入歳出
それぞれ118万9千円

で、前年度予算と比べ49万
円の増額となっています。

(賛成全員)

●令和7年度 日高川町水
道事業会計予算

業務予定量として、給
水戸数4,149戸、一日
平均給水量3,204立方
メートルとし、施設管理
の運営及び工事に必要な
経費を計上しています。

事業収益2億4千89
2万3千円に対し、事業
費3億6千546万9千
円、また資本的収入3億
92万円に対して、資本的
支出3億2千316万5
千円を計上しています。

(賛成多数)

事業収益3億4千716万1
千円としています。

(賛成多数)

●令和7年度 日高川町下
水道事業会計予算

業務予定量として、水
洗化戸数1,147戸、
主要な建設改良事業費
5千500万円としてい
ます。

(賛成多数)

事業収益3億4千62
0万8千円に対して、事

業費3億4千716万1
千円としています。

(賛成多数)

また、資本的収入1億
1千989万3千円に対
して、資本的支出2億6
11万2千円を計上して
います。

(賛成全員)

●工事請負契約の締結に
ついて

早蘇中学校周辺整備工
事(テニスコート)

契約の相手方は、株式
会社古部組で、契約金額
は7千975万円です。

(賛成全員)

●工事請負契約の締結に
ついて

早蘇中学校増築工事
(部室棟)

契約の相手方は、株式
会社古部組で、契約金額
は7千406万3千円
です。

(賛成全員)

●発議第1号 日高川町
議会の個人情報保護に
関する条例の一部を改正
する条例の制定について

(賛成全員)

第2回臨時会

●工事請負契約の締結に
ついて

令和6年度 町道大又
藤野川線道路災害復旧工
事契約の相手方は、株式
会社信濃組で、契約金額
は4億290万8千円
です。

(賛成全員)



町道大又藤野川線道路災害現場

第1回臨時会・第1回定例会・第2回臨時会 審議内容と議員の賛否

○：賛成 ●：反対 欠：欠席

上程議案		議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			山本喜平	堀辰雄	入口誠	井藤満人	熊谷重美	伊奈慎胤	山本芳徳	龍田安廣	山本啓司	堀江才二	吉本賢次	原孝文
第1回臨時会	議案番号	事 件 名												
	補正予算													
第1回定例会	第1号	令和6年度 日高川町一般会計補正予算（第8号）	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	条例の改正・廃止													
	第3号	日高川町職員の給与に関する条例及び地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の一部を改正する条例について	賛多	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
	第4号	育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律及び次世代育成支援対策推進法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第5号	日高川町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第6号	日高川町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第7号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第8号	情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るためのデジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について	賛多	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
	第9号	日高川町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第10号	日高川町中津温泉保養館条例等の一部を改正する条例について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第11号	日高川町学校施設利用条例の一部を改正する条例について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第12号	日高川町スポーツ広場条例の一部を改正する条例について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第13号	日高川町水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	補正予算													
	第14号	令和6年度 日高川町一般会計補正予算（第9号）	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第15号	令和6年度 日高川町国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第16号	令和6年度 日高川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第17号	令和6年度 日高川町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	当初予算													
	第18号	令和7年度 日高川町一般会計予算	賛多	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
	第19号	令和7年度 日高川町笠松農業用水及び公共用水管理運営特別会計予算	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第20号	令和7年度 日高川町国民健康保険事業特別会計予算	賛多	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
	第21号	令和7年度 日高川町国民健康保険事業川上診療所特別会計予算	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第22号	令和7年度 日高川町国民健康保険事業寒川診療所特別会計予算	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第23号	令和7年度 日高川町後期高齢者医療特別会計予算	賛多	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
	第24号	令和7年度 日高川町介護保険事業特別会計予算	賛多	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
	第25号	令和7年度 日高川町川上財産区特別会計予算	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第26号	令和7年度 日高川町寒川財産区特別会計予算	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第27号	令和7年度 日高川町水道事業会計予算	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第28号	令和7年度 日高川町下水道事業会計予算	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	発議・発委													
	発議第1号	日高川町議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	発議第2号	日高川町議会傍聴規則の一部を改正する規則について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	その他													
	第2号	町道路線の認定について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第29号	工事請負契約の締結について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第30号	工事請負契約の締結について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第2回臨時会	その他													
	第31号	工事請負契約の締結について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

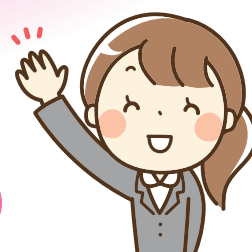
（注）議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否同数の場合のみ、「議長採決」として表明。

一般質問

町政の 今を問う!



3議員が8項目の質問を行いました。



ページ	質問者	質 問 事 項
11	山本 喜平 議員	1. 船津太陽光発電の防災対策は講じられたのか 2. 工事基準額の入札前公表こそ、入札制度の改革では 3. 自衛隊の防災訓練に小学生を見学動員したことについて
12	堀 辰雄 議員	1. 南陵高校に更なる支援を 2. ふるさと納税の今後の見込みは
13	原 孝文 議員	1. 再エネの推進と地域社会の共存のために 2. 通学バス乗降所へ雨風よけ設置を 3. 佐井大芝遺跡と出土物の保存は



1 船津太陽光発電の防災対策は

講じられたのか

主要防災工事が完成するまでは、最小限の工事にとどめることを求めている



山本 喜平 議員

問 12月議会で議決した意見書への対応と対策を問う。

①開発業者に対し、土砂災害等の防災対策を早急に講じるよう指導と監督等する対応を取るよう求めた。

調整池・沈砂池等の施工は進んでいるのか。

②事業計画では、発電開始が令和7年4月からとなっていた。工事完了の予定、事業計画の変更が県に提出されたのか。

③環境影響評価の対象とならなくても、大型開発

事業に対し、町として何らかの条件を課す条例等が必要ではないか。

答 ①指導内容としては、調整池、沈砂池、暗渠工などの主要防災施設工事に速やかに着手し、完成させること。また、これら

主要防災工事が完成するまでは、伐採木の搬出に必要な最小限の工事にとどめることを求めた。

②事業の完成予定は当初計画より遅延し、令和9年3月となる。変更を手段中と確認している。

③新たな条例制定については、現行の法令や県の条例の枠組

みの中で、一定の環境保全や防災対策が担保されていると考えている。現時点では本町独自の基準を設けることは考えていない。



船津地内現場

2

工事基準額の 入札前公表こそ、 入札制度の改革では

過度な価格競争が生じるおそれがある

問 ①官製談合再発防止検討委員会の答申は、未だ公表されていないが、いつ出されるのか。

②1月から条件付一般競争入札制へ移行することであったが、実施したのか。その評価はどうか。

③再発防止をめざすのであれば、工事基準額の入札前公表の実行が、その第一歩ではないか。

答 ①官製談合再発防止検討委員会における最終の会議が2月末に行われ、3月11日答申予定となっている。議会に答申内容や委員会での経緯を含め説明する。その後、速やかにホームページ上での公表も予定している。

②1月より、条件付一般競争入札制度への移行を実施し、6件の入札を行った。制度の導入により、資格を有しながらもこれまで入札に参加できなかった業者が参加できるようになった。公平性・競争性の向上や入札参加機会の確保が一定程度図られたと考えている。

③国の指針では、基準額は原則非公表とされており、公表することで入札価格が基準額に固定化さ

れ、過度な価格競争が生じるおそれがある。一方で、基準額の公表が職員の負担軽減や透明性の向

上につながるなどの指摘については、十分認識している。答申を熟読して最終的な判断を行いたい。

3 自衛隊の防災訓練に小学生を見学動員したことについて

各小学校が特別活動での取り組みとして見学した

問 1月15日、南陵高校で実施した、陸上自衛隊による防災訓練を川辺西、江川、三百瀬の各小学校の児童が見学したようだが、経緯と考え方を問う。

①訓練の見学は、自衛隊から要請があつて児童を見学に動員したのか。
②各学校から全学年の児童が、見学したのか。
③児童に見学させた目的とその教科は何か。

答 ④自衛隊による学校への働きかけは、自衛隊を就職の選択肢として、意識させる取り組みと認識して、防災訓練を見学させたのか。

①自衛隊からの要請はない。昨年末に南陵高校から災害救助訓練実施について声をかけてもらった。防災教育の一環として貴重な学びになると判断し、校長会で伝え

た。近隣の3小学校が見学に参加したものだ。
②見学に参加した3校のうち、2校が全校児童、1校が6年生のみ見学した。
③児童が自らの身を守る意識を高めるとともに、いざというときに安全な行動を取ることができるところを目的に、各校特別活動での取り組みとした。
④自衛隊による学校への働きかけは一切ない。今回は防災教育の一環として取り組んだ学習活動なので、キャリア教育に関わるものではない。



1 南陵高校にさらなる支援を大いに応援していきたい



堀 辰雄 議員

問 既に同校に対しては、土地の無償貸与という大きな支援を行っているが、同校からはそれ以上の恩恵を受けている。町のイメージアップのためにも応援すべきではないか。



南陵高校入学式

答 現在の理事長は、健全な学校運営に取り組んでおり、様々なメディアにも取り上げられ、学校の取り組みを発信している。

町としても南陵高校の再建を大いに応援したく、今後、どのような形で応援が可能か職員共々考えていきたい。

2 ふるさと納税 今後の見込みは

通年提供できる返礼品を開発
する事で寄付額の増額が見込
めると考える

問 ふるさと納税額3
千万円、5千万円、8千
万円、そして今回は1億
円以上と大きく伸びてき
ているが、それでも他の
市町と比べると少ない。
今後の税収アップに繋
げるための具体的な取り
組みについて問う。

答 寄付実績では、返
礼品の90パーセント以上
柑橘類で占めている。
今後の取り組みとして
は、1年を通じて安定し
た供給のできる返礼品の
開発や、地域産品を活用
した特産品開発に実績の
ある、ふるさと納税運営
代行事業者と協力し、日
高川町産の牛肉やチョコ



ふるさと納税

1 再エネの推進と地域 社会の共存のために

地域に迷惑のかかる形は望んでいない



原 孝文 議員

問 2022年に日本
弁護士連合会が、再エネ
の推進についての意見書
を出している。内容は、
現在の日本の再エネ開発

の推進方法では開発が進
まず、かえって逆行する
結果となり、改善が必要
というものだ。

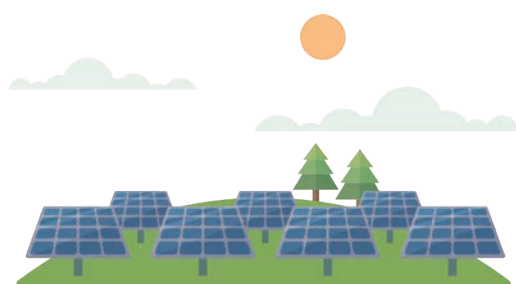
乱開発を抑制し、自然
保護、災害防止、地域住
民の生活の保全がなされ
てこそ、再エネ発電施設
の建設が進む。この両立
が大切であり、そのため
の法改正、自治体としての
取り組みが必要である。

全国的に風力や太陽光
発電の建設をめぐり、住
民との紛争や生活環境の
破壊が多発している。開
発業者はあくまでも利益
第一であり、不誠実な業
者の地域住民への説明は
全く不十分だ。合意形成
も地域にどの程度のお金
が入るかが判断基準と
なっているのではない
か。

町は傍観者的な姿勢を
改め、明確な考え方の構
築、規制などの対応をし
ていくべきだ。

答 再エネ開発が地域
に迷惑のかかる形は望ん
でいない。ただ、環境ア
セスメント基準やガイド
ラインに沿った事業計画
であれば、影響を回避も
しくは低減できるものと
思っている。

町としては、住民が困
るという開発に関して、
それを推進するつもりは
ない。



2 通学バス乗降所へ 雨風よけ設置を

全町的に検討し、作業を
始めたい

問 子ども達のための学校統合を目指し、学校再編推進委員会では協議を重ね、学校現場は勿論のこと、より快適、便利に学べる環境整備を進めてきた。

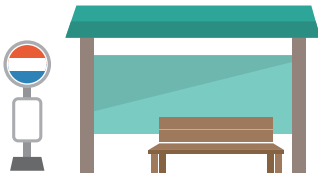
その中で、登下校については、校舎所在地以外に住む児童・生徒はバス通学となることから、推進委員会では、バス乗降所への照明、雨風を防げる施設、防犯カメラ等の設置を町へ要望することを決めた。

既にバス通学を実施している地域を含め、全ての必要と思われる箇所への設置要望である。時間的な余裕はないが、早急に検討、予算化して整備を望む。

答 バス乗降所は約40箇所あり、既に施設がある箇所もあるが、未整備が多方面である。

設置のためには、一定の広さが必要で、土地の協議など様々な課題もあり、地域住民の皆さんの協力も不可欠だ。

全町的に検討し、事務作業を行い、必要な整備、優先順等を精査した上でまとめ、推進委員会として正式に要望していく。



3 佐井の大芝遺跡と 出土物の保存は

一部だけでも保存・展示して
いきたい

問 圃場整備のため、発掘が進められていた大芝遺跡は、約4千4百年前の縄文後期の住居跡と中世の建物や墓地在混在する珍しい遺跡である。発掘面積は、1万1千㎡と、県内一は勿論、近畿地方でも最大級とされている。

縄文時代の竪穴式住居



大芝遺跡

跡が20ヶ所程確認されており、土器片や矢じり、漁具などコンテナ110ケース分が出土している。広く中部や関東地方との交流があったこともうかがえる。

中世のものでは、墓穴より鉄製の短刀やえぼしと思われる布切れも出土している。

答 調査事例が少なかった日高川中流域の古代からの生活内容を知る重要な手がかりになるもので、本町の歴史を学ぶ上で生きた教材として積極的に活用していきたいと考えている。

県教委の整理後において、出土物の一部だけでも提供いただき、保管や展示などしていきたい。

らかの保存を考えるべきでないか。

総務文教常任委員会

調査事件

【調査実施日】 令和6年11月20日 新潟県村上市
令和6年11月21日 新潟県三条市

【調査地】 新潟県村上市及び三条市

【調査目的】 新潟県村上市：議会災害対策本部設置要綱を策定する等、防災対策を講じている。また、デジタルトランスフォーメーションへの取り組みではタブレット端末運用規定の策定をしている。

三条市：三条市水防学習館は水害をテーマにした防災教育関連施設である。

【調査者】 総務文教常任委員会（委員長）山本芳徳、（副委員長）熊谷重美、

（委員）伊奈禎胤、井藤満人、堀江才二、原孝文

【随員職員】 総務課長 戸根康文、議会事務局長 西晃史



【村上市議会の防災・災害対策について】

①村上市の概要

昭和42年と令和4年に大雨により河川が氾濫し甚大な被害を受けた。

②昭和42年の羽越水害による被害状況

死者・行方不明者19名、重軽傷者147名、住家全壊・流出333棟、半壊734棟、床上

浸水2千108棟、床下浸水1千978棟

③令和4年8月新潟県北部豪雨による被害状況

全壊6棟、大規模半壊14棟、中規模半壊105棟、半壊457棟、準半壊51棟他



④ 村上市議会災害支援本部設置要綱

東日本大震災を契機に、災害時の議会の在り方について、議会運営委員会を中心に検討を重ね、議会の組織として平成27年に災害対策支援本部設置要綱を策定した。

⑤ 村上市議会の平常時の対応

毎年開催されている執行部の防災訓練に合わせ、議会独自の訓練として、議会災害支援本部設置訓練と情報伝達訓練を行っている。

⑥ 令和4年8月豪雨災害時の議会の対応

議長、副議長は市役所庁舎へ登庁し議員の安否確認を行った。各地区の被害状況の確認と要望の聞き取り、個々の議員からの情報収集を行った。

⑦ 災害後の村上市議会の対応

市長に対し「豪雨災害に関する申し入れ」を行い、国県の支援対象とならない被災者への市からの見舞金支給の検討、県知事に対し「防災、減災、国土強

靱化対策の継続及び拡充を求める意見書」を提出した。

⑧ 調査の結果、意見

災害時において執行部の混乱を避けるためにも、議会が独自で情報集約し執行部に伝えることが大切である。本町議会においても災害対策本部設置要綱の策定や平時の訓練等の事前準備に取り組むべきと考えた。

「村上市議会のデジタル化・ペーパーレス化の取り組みについて」

- ・ 取り組みの背景
 - ・ 現状と課題
 - ・ 導入までの取り組み経緯
 - ・ ペーパーレス化
 - ・ タブレット端末の導入について
 - ・ タブレット端末導入により期待される効果
 - ・ タブレット端末導入環境
 - ・ 導入費用の概算
- についての説明を受け、連絡時

等を使用するアプリであるサイドボックス・ラインワークスの実演があった。説明と実演を通じて、便利さを体験し、将来的には、デジタル化、ペーパーレス化に取り組むべきと実感した。



【三条市水防学習館について】

①施設概要

市内を2度襲った水害を教訓に、水害の類似体験等を通じ、市民の防災意識の向上を図ることを目的とした施設である。

②展示物・体験コーナーでは航空写真の展示、水害記録、消防戦地図、非常時持ち出し品等の展示、ドア水圧体験や映画上映が行われていた。

③三条防災ステーションでは配水ポンプ車、照明車、土嚢用の砂の準備がされていた。

④副館長からの説明

経験した水害の状況、防災対策、災害遭遇時の対応についての説明を受けた。

⑤調査の結果、意見

子供を中心に年間約7,000人が来場する水防学習館からは、三条市の防災教育を重視する姿勢がうかがえた。館内は効率よく研修が行えるよう配列されており、説明を受けた副館長

は地域の特徴、災害時の対応等総合的に熟知されていた。配備されている多数の災害への準備については見習うべきであり、本町防災センターの更なる充実を図りたいという思いに至った。



三条市の刃物



産建厚生常任委員会

調査事件

【調査実施日】 11月19日(火)、20日(水)、21日(木)

【調査地】 熊本市(株)ローカル／福岡県久留米市 一般社団法人ザ・チャレンジド／

福岡県糸島市 JA糸島営農センター 花卉部会の千両施設園地

【調査者】 産建厚生常任委員会(委員長) 入口誠、(副委員長) 山本啓司、

(委員) 山本喜平、堀辰雄、龍田安廣、吉本賢次

【随行職員】 林業振興課長 山下貴史、農業振興課長 岡本貴裕、

企画政策課 柳瀬誠、議会事務局 森克之

県外調査先3カ所の詳細の①調査目的、②調査地、③調査実施日、

④概要、⑤取り組みの実態、⑥調査の結果・意見は、以下の通りである。

1. (株)ローカル

●調査目的

ふるさと納税関係の取り組みについて。

当町(日高川町)のふるさと納税の寄付額を増やす参考としたい。

●調査地

(株)ローカル(熊本市)、ローカル本社、青果物選果場・出荷場、食品加工場

●調査実施日

11月19日(火)

●概要

株式会社ローカルの設立は平成20年7月7日で昨年度の売上高は62億円余りである。EC事業(野菜・果物・精肉・海産物などのインターネット販売)とふるさと納税サポート事業(ふ

るさと納税サイト運営代行及びコンサルティング)が主な業務である。全国32自治体で運営代行を行っている。和歌山県内では日高川町を始め、紀の川市、日高町、岩出市をサポートしている。

●取り組みの実態

本町とは、令和4年10月より運営代行を開始し、令和5年度では、4千940万円となり、

前年度より266%の増加となった。

掲載ポータルサイトを大幅に増やすと共に、寄付者からの質問や苦情などは、(株)ローカルでの対応を行っており、自治体への負担を軽減している。

参考として(株)ローカルは、自社で7カ所の製造拠点を保有しており、パートナー工場も含め、自社製造を行っている。出品業者と運営代行を同時に進めてい



るので、コスト低減や独自の価格提供を行い、競争力を強化し売上げを伸ばしている。

●調査の結果、意見

本町のふるさと納税の寄付額は、前年度よりかなり増えているが、それでも1億円に届いておらず、県下でも下位から4番目である。今回の視察で、本町の寄付額を増やすには、熱意が重要であると感じると同時に、その上で地域産品を活用した特産品の開発、生産者への出品促進が必要である。さらに、(株)ローカルによるJAや市場など



から農作物の調達での返礼品開発等の仕入れ業務提携などでもできるのではないかと。検討の余地があると感じた。

本町でも、まだまだ伸びしろがあると思うので、今まで以上に知恵を出し、少しでも町の税収アップに繋がることを期待する。

2. 一般社団法人ザ・チャレンジ

●調査目的

福祉と農業が連携する取り組みについて、今後の本町の農業の担い手不足解消と障がい者雇用活躍の参考としたい。

●調査地

一般社団法人ザ・チャレンジ
ド(福岡県久留米市)
ザ・チャレンジ本部、受託
農家(2カ所)

●調査実施日

11月20日(水)



●概要

ザ・チャレンジは平成22年に八女市(やめし)福祉課を通じて福岡保護観察所保護観察官から要請を受け、知的障がいのある青年の更生保護を開始し、平成24年には、法務省保護局が所管する協力雇用主に登録した。平成27年、就労継続支援A型事業所「K'sファーム」を設立するとともに、輪菊の電照施設栽培を開始した。さらに令和2年から就労継続支援B型事業所「K's bee」を開設している。

現在、触法者を含む33名の障がい者を雇用し、認定農業者として花卉生産に取り組むとともに、170を超える農業経営体から多種多様な作業を受託している。

令和5年度受託件数は、就労継続支援A型で職員7名 利用者20名 総受託件数(延)751件、就労継続支援B型で職員5名 利用者13名 総受託件数(延)435件である。

●取り組みの実態

利用者の適性と能力に合わせた働き方を設定している。また、





作業内容、態度、能力、経験等を考慮した評価基準に基づく昇給制度を採用している。夏期には、サマータイムの導入や休暇時間を定期的に設けているほか、全員に空調服を貸与するなど、徹底的な熱中症対策を実施している。そして、農業改良普及センターと連携し、品目別作業の標準化とマニュアルによる作業に取り組み、地域の福祉施設や若手新規就農者にとって有効なノウハウを提供している。

客観的な評価基準による昇給制度を採用することで、利用者

の責任感や、やりがいの維持につながっており、就労継続支援A型事業所の平均賃金月額額は2012年の5万6千円から2022年には10万円と増加している。農業関係収入は取り組み当初9万円であったが、令和5年で4万700万円になった。また、障がい者、ひきこもりの状態にあった利用者が、就労支援により精神力、体力、社会性を身につけ、10名以上が一般就労へ移行した。

地域における障がい者への理解が深まることで、地域に農福連携の取り組みが広がっている。また、契約農家から障がい者を直接雇用したいとの相談を受けるなど、農家からも信頼を得ている。

●調査の結果、意見

地域共生社会と農福連携の取り組みを視察した。

ザ・チャレンジは、農業に特化し、障がい者就労継続支援A・B型を事業としている。この法人は、まず法人の畑で障がい者の訓練を積み、その能力を理解した上で利用者を農家に送

り出しているとのことであった。

電照菊を生産する農家での就労を視察したが、健常者と変わらない仕事をこなしていた。障がい者とは思えない仕事ぶりに感銘を受けた。

農業の担い手不足と障がい者の就労の確保を福祉事業で行うことは、地域の課題解決にもつながると感じた。今後、本町でも農業の担い手という観点からも機会があれば取り組んでほしい。

3. JA糸島花卉部会の千両施設園地

●調査目的

本町の千両栽培も数量・品質に限界があるため、新たな取り組みを行っている他県の栽培方法を参考にしたい。

●調査地

JA糸島宮農センター花卉部会の千両施設園地（福岡県糸島市）

●調査実施日

11月21日（木）

●概要

糸島地域は、福岡県の最西端に位置し、北は玄界灘に面し、東は福岡市、西は佐賀県唐津市、南は背振山系を境として佐賀県佐賀市に接した自然豊かな田園都市である。

気候は、対馬暖流の影響を受けた温帯型の気候で、冬期は、





が、農業生産の基盤となっている。圃場が広く、鉄骨ハウスによる栽培がされている。補助事業を利用してパイプハウスを整備、寒冷紗で覆い遮光し、さらに夏の遮光には屋根と千両の間に寒冷紗を備えていた。現場では出荷直前の丈、実付きの見事



またハウスでの栽培では、実の糸吊の方法等、「独自の方法が採用されている」とのことである。これを機会に、山間部における特用林産物の生産振興に活かされる事を大いに期待する。
本町においても、千両栽培をしている地域もあり、より良い商品の生産に繋がる調査であった。

低温で晴天が少ない日本海型の気候区に属している。また、糸島平野を中心に豊穡な大地にて農業が盛んな地域である。
JA糸島花卉部会は山間部の糸島地区で千両の栽培を行っている。

●取り組みの実態

JA糸島千両研究会は、会員8名で構成しており、主に糸島市南側に広がる脊振山系（雷山）と可也山の麓で千両の生産を行っている。出荷は、地元の福

岡花市場を中心に年間20万本を出荷しており、会員の技術向上や品質向上に努めている。

●調査の結果、意見

糸島市雷山地区生産者の千両ハウス施設を視察した。

経営主名…小川勝氏（糸島市雷山地区）

経営面積…56a

労働力…家族労働力…2人、雇用労働力…12月に雇用

出荷市場…福岡花市場 他
現地は圃場整備された農地

な千両が栽培されていた。今年の夏は全国的に猛暑続きで糸島市でも千両の色づきが悪いとのことであるが、落下している実は見た範囲では殆ど見られなかった。ハウス内は高さがあり作業がしやすくなっている。灌水パイプ、支持ネットなどを整備し、栽培技術の高さを感じた。

特用林産物に位置づけされる千両は本来、寒暖差の大きい山間地が栽培適地とされるが、山間部では比較的圃場が狭かったり、地形の影響で、コスト的に



ハウスより木製の施設が選択されるケースが多いとのイメージが強かったが、糸島市における千両栽培は大規模な施設栽培である。

入口議員に全国町村議会 議長会表彰

全国町村議会議長会定期総会において、入口誠議員が全国町村議会議長会自治功労者表彰を受賞されました。

この表彰は、議会議員として15年以上在職し、地域の振興発展と住民福祉の向上に努められた功績が高く評価されたものです。

定例会の開会前に、伊奈禎胤議長から表彰状の伝達が行われました。



4月1日付けの人事異動により、前議会事務局長の西晃史さんが中津支所長となり、後任に前保健福祉課長の藏道悦男さんが新たに議会事務局長に着任しました。
よろしくお願ひします。

人事



お花見に行ってきた！
地球温暖化の影響なのか、近ごろ四季の移ろいを感じる事が少なくなった様な気がしていたのですが、咲き誇る満開の桜に思い切り「春」を感じました。
お天気は今一つだったのですが、桜の花を見上げる人の顔はどの顔も晴れ晴れとしており、桜の花と人の笑顔に心穏やかな時を過ごすことが出来ました。
木の寿命や大気の温度の上昇伝々で、あと何十年か先には桜の花が見られなくなるという話を漏れ聞きました。



委員長	山本 芳徳
副委員長	山本 喜平
委員	入口 誠
委員	熊谷 重美
委員	山本 啓司
委員	吉本 賢次

れなくなるという話を漏れ聞きました。
考えさせられる話です、人にも地球にもやさしく便利な生活を捨てることなく自然を満喫する術を考えましよう。
これから先もずっと「お花見」が出来るように！
(熊谷 重美)

